

ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳癌（乳房切除術+再建術エキスパンダー挿入）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

S国際病院（ ）病棟

経過 手術日・退院日など	1日目 入院日	2日目 手術日	3日目 術後1日	4日目 術後2日	5日目 術後3日	6日目 術後4日目以降
治療 薬剤 (点滴・内服)	点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）： 病室で行います。	<ul style="list-style-type: none"> 点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）：朝一番の手術は手術室で、それ以外は病室で行います。 抗生物質の投与 痛みに応じて痛み止めを使用します。（点滴、坐薬など） 	<ul style="list-style-type: none"> 食事が取れたら、朝・夕の抗生剤の点滴のみ行います。術後2日目の夕方に留置針は抜きます。 毎食後、痛み止めと術後の傷跡の回復を促進するための薬を内服します。（飲みきり終了） 	抗生剤の内服薬を開始します。 必要時、痛み止めを内服します。		
処置	手術する側の乳房にマジックでマーキングします。	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、酸素投与を行います。時々深呼吸を行ってください。 創部にドレーンが入ります。毎日排液量を測定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素投与を中止します。 創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ドレーンは1日50ccを目安に抜きます。ドレーンの抜けた翌日に退院可能です。 			
検査	□（ ）					
安静度	制限はありません。	手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。 ドレーンが入っている間は、腕や肩の積極的なリハビリはしません。（随時、説明いたします。） 			
食事	21時より絶食 深夜0時より絶飲食	絶飲食 口を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。	朝食から食事が始まります。制限はありません。			
清潔	シャワー、洗髪を済ませておいて下さい。	手術前に手術用ガウン、下着に着替えます。 弾性ストッキングを着用します。当日はガウンのまま過ごしていただきます。	ドレーンの入っている場合は、上半身は清拭、下半身はシャワーが可能です。	創部は透明フィルムで保護されています。 水を通さないため、ドレーンが抜けた翌日以降は全身のシャワーが可能です。		
排泄	入院後、排泄回数を記録して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> 起床時より、尿量を計測し、記録してください。 麻酔ががかってから、尿道カテーテルを入れます。 	朝、尿道カテーテルを抜きます。	排泄回数を記録してください。		
説明・ オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 麻酔、手術中の流れについて麻酔科医、手術室看護師が説明に伺います。 手術、麻酔の同意書をお預かりします。 問診、検温、常用薬の確認等行います。 	手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。	<ul style="list-style-type: none"> エキスパンダーに関する書類をお渡しします。（岩平クリニックについて） 手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回外来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。 ご希望に応じて、訪問ボランティアの調整をします。（外来の場合もあります） ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。 			

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。